

○H29法奥小学校6年生「森林・林業・木材産業体験学習」

十和田市立法奥小学校6年生が、9月12日(火)・21日(木)・11月9日(木)の3日間、森林・林業体験学習を行いました。

<事前授業>

1日目(9/12)は、森林事務所の職員が先生となり、教室で、木を伐り利用することと環境との関わりについて学習しました。

木造住宅1軒に使用される木材の量に関する三択問題などが出題され、答え合わせの際には、使われている木材の量が予想よりも多いことに「おおっ」と驚きの声があがっていました。さらに、適切に伐採・植栽を行って若い樹木を生長させることで、光合成を活発にし、より多くの二酸化炭素を吸収させることができることなどを説明しました。木を伐ることは悪いことというイメージを持っていた児童が多い中、適切に伐って利用することの重要性を理解していただけたのではないかと思います。



柱の重さは？



授業の様子

<間伐現場・木材加工センター見学>

2日目(9/21)は、間伐現場と木材加工センターへ見学に行きました。

午前中、小学校から近い間伐作業中の国有林へ行き、事業請負者の上北森林組合職員から作業内容等の説明を受けた後、チェーンソーによる伐採作業や高性能林業機械(ハーベスタ)での伐採・枝払い・造材作業を見学しました。

伐採作業では目の前で木が倒れると、児童から歓声や拍手が起こり、「オノは使うんですか?」、「1



この木は何歳？

日何本くらい木を伐るんですか?」「今まで伐った木で一番樹齢が高いのは何歳でしたか?」など多くの質問が寄せられました。切り株や玉切りの際に出た板の年輪を数えて、実際の林齢と合っているか?ということも確認しました。

さらに、実際にチェーンソーを持ってその重さを体感したり、ハーベスタの操縦席に座らせていただいたりする際には、14名の児童全員が希望して積極的に参加し、とてもインパクトのある体験になったことと思います。



チェーンソーは重い!

午後は上北森林組合木材加工センターへ移動し、端材等が木材乾燥用ボイラーの燃料として利用されている様子や、丸太から機械のラインによって柱や板といった製品を作り出す様子を見学しました。



木質バイオマスボイラーの見学



丸太がたくさん!

<木工体験・モデル住宅見学>

3日目は、十和田市内のいわきの家（有限会社岩木建設）で、木工体験とモデルハウスの見学を通じ、木材が住宅に使用されている様子を学習しました。

まず、端材を利用したペン立て作りと、カンナがけの木工体験を行いました。慣れない作業に苦戦しながらも、挑戦するうちにどんどん上達していき、特にカンナがけは皆で競うように2回3回と体験していました。

木工体験の後はモデルハウスの中に移動し、岩木建設社長から木材の良さや使用している木材について説明を受け、とくに10種類以上の木材が使われていることには驚きの声が上がりました。説明の後は、30分ほどモデルハウスの中を自由に探検しました。終始子供達の歓声に包まれ、皆が楽しみながら木材に親しむことができたと思います。



慎重にカンナがけ



電動ドリルでペン立て作り



カンナくずで変身?!



使われている木材の説明

この3日間の学習によって、循環資源としての森林の大切さと共に、林業・建築という仕事の役割や魅力、大変さなどを少しでも伝えることができたのではないかと思います。

なお今回の学習では、林業事業者及び企業の方々に、お忙しい中にも関わらず快くご協力いただきました。深く感謝を申し上げます。